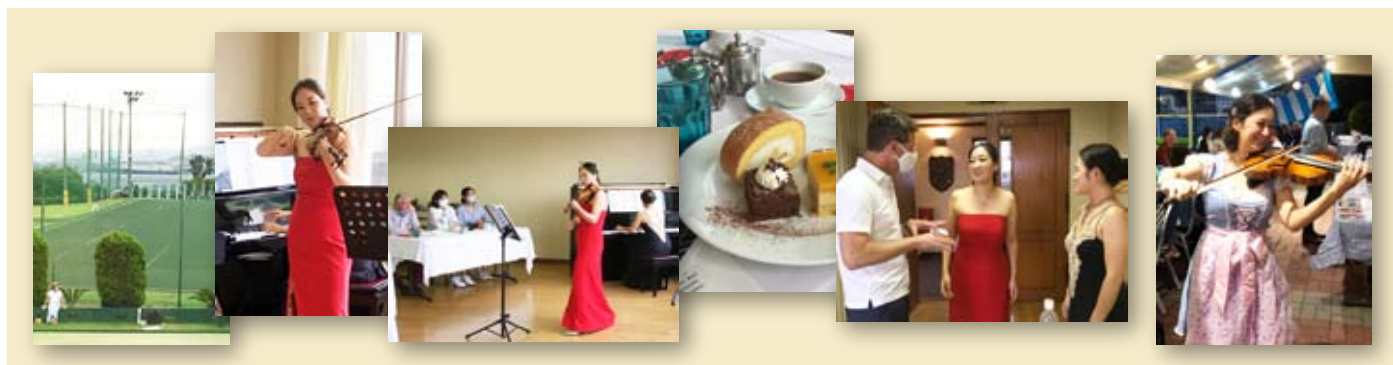


猛暑の夏も過ぎ去り、涼やかな風が抜ける季節になりました。感染対策を取りながらも、ようやくコンサートができるようになった伊都さん、恒例のリサイタルも時期を早めて開催できることになりました！秋にコンサートが続くことから、後援会主催のユニオンチャーチコンサートは来春に延期をさせていただきます。今年は活動ができない時期が長く続きましたが、その間に培われたものもきっと沢山あったことでしょう。直接生の演奏を聴ける側の喜びもまたひとしおです。

近況報告

先日9月19日、半年ぶりに実家から徒歩5分、日本で一番歴史の古い、外人クラブ YCAC にて、アフタヌーンコンサートを開催しました。6か月も人前で演奏しないなどということは、留学して以降演奏活動を続けている中で初めてのことで、緊張するかしら、楽器の響きが大丈夫かしらと、いろいろドキドキしていたのですが、最初の曲、ベートーヴェンイヤーにちなんで選んだベートーヴェンの初期の名作、ヴァイオリンのためのロマンス第2番の最初の高音、E線Fの音を奏でたとたん、音のはじき出されて、波動が星の軌道のように目の前に広がっていくような、ああ音を出すっていいな、この場所に戻ってきたと胸が熱くなり、何より、楽器が音を紡ぎだすことをとても喜んでいることがビシビシと伝わってきて、私の前に100年以上どんな人たちがどんな思いでこの楽器を弾いてきたのかは知る由もありませんが、弾き継がれてきたこのヴァイオリンに宿る音楽への愛情を感じ、不甲斐ない奏者かもしれないけど、これからも一緒に演奏をしていきたいと気持ちも新たに思っています。後遺症としては、いつもなら1日で治る腕と指の疲れがとれないこと、ヴァイオリンもどうやら一仕事終えたあとの充電期間なのか、音のこもりが解消されないこと、でも10月11日、11月21日と、それ以外にも小さなお店で弾く機会もあり、特に11月21日はみなとみらいホールで今年も演奏できる幸せをかみしめつつ、ベートーヴェンのクロイツェルソナタに再挑戦したいと思っていますので、楽器に協力してくれないと困ると言い聞かせているところです。ぜひ再スタートの私たちコンビの演奏を聴いていただければと願っています。【伊都】



Ito Kanoh Afternoon Violin Concert at YCAC

9月19日、横浜山手の高台にある YCAC で伊都さんの久々のコンサートが行われました。YC&AC は明治元年にスコットランド人の貿易商が作ったクリケットクラブが前身の、歴史ある会員制外国人スポーツクラブです。普段は入ることも難しいこのクラブで、ご近所に住む伊都さんの、定員30人のコンサートが実現、併設レストランのパティシエお手製の美味しいスイーツとともに、優雅なセレブの気分を味わいました。

今年はベートーヴェン生誕250年ということで、前半は“Viva Beethoven”と題し、ロマンス第2番、ヴァイオリンソナタ第8番のほか、これは珍しい！交響曲第5番「運命」と第9番「歓喜の歌」のヴァイオリン Ver. を演奏。超有名主題を伊都さんらしいド迫力の弾きっぷりで、久しぶりに聴きたかったのはこの感じ！とすっかり嬉しくなりました。またどこかで聴きたい2曲です。

後半は、タンゴや映画音楽、アイリッシュメロディーなど、バラエティー豊かな曲の数々。Over the rainbow、My favorite things、Moon river などポピュラーなメロディーも楽しめました。

長くコンサートができなかった時期を乗り越え、ようやく訪れた時間、演奏後の伊都さんと、ピアニスト近藤紗織さん、二人の笑顔がとても印象的でした。

(その場で、YCAC の一週間後のイベントでも是非弾いてほしい、と依頼された伊都さん。右端の写真がその時のスナップだそうです。ウィーンのホイリゲで弾いた時のことを思い出したような笑顔！衣装も可愛い!!)

親子で楽しむクラシック ー音楽で世界旅行ー

2020年10月11日(日) 12:30 開場 13:00 開演

Karura Hall 東京都 世田谷区経堂 3-6-12

Violin 加納伊都 Piano 村上明子

一般 4000円 学生 2000円 親子割 -500円

申し込み: info.akikomurakami@gmail.com



第18回 加納伊都ヴァイオリンリサイタル開催!

下記の日程でみなとみらいホールの予約が取れ、恒例のリサイタルが開催できることになりました! 寒い時期や夜間を避けての開催となり、感染対策もホールの規定に従い万全を期して行います。小ホールの定員は400名ですが、今回は一席おきの200名とさせていただきます。ご案内の郵送開始は10月15日を予定しております。



2020年11月21日(土) 13:30 開場 14:00 開演

横浜みなとみらいホール小ホール

Piano 森田義史 一般 3,000円 学生 2,000円

ベートーヴェン: ヴァイオリンソナタ第9番 イ長調 作品47「クロイチェル」
 マスネ: タイスの瞑想曲
 サン＝サーンス: 序奏とロンド・カプリチオーソ 他



DVD Classic Collection

作品 No.41

「アンドレア・ボチェリ ～奇跡のテノール」

人気オペラ歌手の自伝を映画化



2017年イタリア

あらすじ

1958年イタリア、トスカーナ地方で生まれたアモスは、先天的な弱視だったが12歳の時サッカーボールが目に当たり光を失ってしまう。歌の才能があったが、それも変声期で諦め、法律家を目指す勉強の傍らナイトクラブでピアノを弾き、歌っていたところを見出され、有名なマエストロを紹介される。

見どころ

イタリアではオペラ歌手としてだけでなく、セリーヌ・ディオンやサラ・ブライトマンとも共演するクロスオーバーな国民的歌手として人気のボチェリ自伝小説の映画化。作中の歌唱はすべてボチェリ本人の吹き替え。パヴァロッティの葬儀でも彼が歌ったという「誰も寝てはならぬ」など堂々の歌が聴ける。「指揮者も見えないのにオペラ歌手にはなれない」と酷評された彼の才能を見抜いて指導するマエストロの熱意や、根気強く彼に接する叔父や両親の愛情も胸を打つ。

感想

彼の周りには家族のほか、落第しても教科書をテープに録音して熱心に勉強を見てくれた家庭教師や、ピアノとギターでバンドを組んで彼を再び歌に向かわせた親友、彼を信じて励まし続ける恋人…がいた。何度も自暴自棄になる状況で弁護士資格を取り、35歳で漸くレコード会社と契約できる。苦労があったからこそ、ただ上手いだけではない歌の魅力や親しみやすさが彼の人気の理由だろう。

*DVDはTSUTAYAの店舗でレンタル可能な作品のみをご紹介します

編集後記 もう8ヵ月もコロナ禍が続き、いい加減皆さんイヤになったのか9月の連休も先週末も街の人は多く、高速道路も渋滞し…大丈夫かなと心配になりますが、インフルエンザが流行る前に、今のうちに! という気持ちでしょうか。/ 同じ理由で12月恒例のリサイタルも前倒しになりました。来年は改修工事でみなとみらいホールは使えませんので、今年11月が取れて本当によかったです! 大声を出すコンサートに比べると安全ということで、ホールの規制も少しは緩いようですが、自主的に席数は50パーセントにさせていただきます。/ 今年のピアニスト森田義史さんは2005年第3回のリサイタルで共演した方で、桐朋音楽大学からミラノの国立音楽院に留学、最高点で修了したという経歴の持ち主。男性らしいダイナミックなタッチの演奏は、伊都さんとういう化学反応を起こしてくれるのか、とても楽しみです。 〈ゆ〉

発行: 加納伊都後援会 TRAU BEN
 〒231-0835 横浜市中区根岸加曾台 15
 TEL: 045-622-6780
 FAX: 045-621-6423
 Email: trauben@itokanoh.com
 Homepage: itokanoh.com